



**骨・運動器疾患看護研修会 看護部講師**

2 病棟副看護師長 松岡千恵美

村山医療センターに就職して約 20 年を迎えました。現在、脊椎や関節の手術を中心に行う整形外科病棟に勤務しています。整形外科看護の経験を活かし、平成 29 年度の『骨・運動器疾患看護研修会』では、『整形外科患者の看護 関節疾患』についての講師を務めました。講義をまとめるにあたり、「人に伝える」難しさを感じながら、実践している看護の根拠を再認識しました。研修生のアンケート結果では「改めて合併症と観察項目の理解ができ、観察の重要性を再確認できた。」「手術をする前から合併症予防を行うことで早期に回復していくことがよくわかった。」「脱臼については禁忌肢位より、安全な肢位を指導していることが心に響きました。」と感想があり、安心しました。

患者さんは、「歩けるようになりたい。」「痛みが少しでも和らいでほしい。」という希望を持って手術に臨みます。手術をしないと寝たきりになってしまう疾患もあり、そのような患者さんの悩みや希望を聞き、共に目指すゴールを決定し、他職種と協働してケアを実践しています。患者さんが退院しても再発したり、日常生活に困る事がないよう家屋の環境調整を行ったり、カンファレンスをして社会資源の活用を提案し、看護師として関わることは多くあります。

患者さんから「ありがとう。」「あなたのおかげで。」とお言葉をいただいた時は、嬉しくやりがいがある仕事だと実感します。それがモチベーション向上につながり、20 年間続けられた要因です。これからもチームワークの良い看護を実践し、患者さんが安心して入院生活・退院できるよう支援します。

**カンファレンスは、患者さんの情報を共有して他職種と協働してケアを実践します。**



**『骨・運動器疾患看護研修会』とは**



骨・運動器疾患に従事する看護師として専門的な知識・技術を高めることを目的に平成 23 年に初めて開催し、今年度まで継続しています。

ここ 3 年は、新棟建設の為規模を縮小していますが、次年度は、全国から研修生を募ります。研修会は、多職種が講師となり 3 日間行われます。当院で行っている専門性の高い医療・看護について学べると好評です。

内容としては、

- ・整形外科専門医師が講師となり 『疾患の病態生理と治療』等
- ・看護師が講師となり 『整形外科疾患患者の看護』 『褥瘡ケア』 『退院調整』等
- ・理学療法士・作業療法士が講師となり 『社会復帰に向けた理学療法・作業療法』等